



## 「地域包括ケアシステム～スキームの中の歯科医療～」

神戸市西区歯科医師会 会長 中田 隆三 氏



「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針2022）」の中で歯科に関しては、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）の具体的な検討ということが記述されました。これは健康寿命延伸には歯科口腔保健が大切であることのエビデンスが蓄積してきたにもかかわらず、これまで十分な歯科口腔保健施策がなされてこなかったことを改善することが目的です。高校生までは歯科検診がありますが、その後の生産年齢人口では歯科検診を受ける機会が少なく、歯科疾患が重症化してしまうことも危惧されます。

神戸市では2016年に「神戸市歯科口腔保健推進条例」が制定され、生涯にわたって質の高い生活を送るために、歯と口腔の健康を保持することを目標に全てのライフステージに対して様々な歯科保健施策が展開されるようになりました。また、兵庫県におきましても令和4年4月に「歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定され、生涯における歯・口腔の健康推進施策の基本となる具体的な事項が定められました。

この度の国民皆歯科健診はさらに踏み込んだ内容であり、歯科関係者の1人として実現に期待を寄せております。



また、これ以外にも骨太の方針には、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療職間・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携強化について、以前より引き続き記述され、重要な国の政策となっています。

オーラルフレイルとは、噛む・飲み込む・話すなどの口腔機能が低下し始めた状態で老化のサインとされています。食生活に支障をきたすようになり、滑舌低下による社会活動の減少がフレイルの入り口となっています。

このオーラルフレイルを予防管理することが我々歯科医師の重要な任務であり、歯科医師会では神戸市からの委託を受け、令和3年度より65歳のオーラルフレイルチェック事業を開始しております。必要に応じ口腔内環境を整え、口腔周囲・頸部の筋肉や舌の運動、唾液腺のマッサージなどを指導し、あんしんすこやかセンターの「フレイル改善通所サービス」とも連携し地域住民のフレイル予防に努めております。

在宅療養においては、これまで口腔ケアが誤嚥性肺炎予防に重要であり、専門家としての歯科医師や歯科衛生士の関与が有効であることや、上下の歯（入れ歯）の接触が嚥下運動に重要であり、認知症予防や転倒防止にも関連することなどを多職種連携講演会や地域ケア会議などを通してお話ししてまいりました。

また、昨年より実際の口腔ケアに携わっておられる職種の方を対象に口腔ケア実習も開催しておりますのでご案内の際には奮ってご参加いただけましたら幸いです。



一方、歯科外来に通院されていた患者さんがご病気で入院され、治療や歯科疾患管理が中断し、退院後も通院困難なため放置されてしまうことが少なくないようです。我々の啓発活動が不十分であるため、残念ながらケアプランの居宅療養管理の中に歯科が組み入れられていないこともよくあります。

そこで、患者・要介護者と医療機関を繋ぎ、また関連する他職種間が手を繋ぐことで在宅医療・介護を充実させ、地域包括ケアを機能させるために、「医療介護サポートセンター」が重要な役割を担っておられますことに、また歯科からの情報発信の機会を設けていただいていることに対し大変感謝申し上げます。

あらゆるステージの地域住民が健やかに生活できますように歯科医師会ではさまざまな活動を行っております。

在宅歯科診療について、もしもかかりつけ歯科医の対応が困難な場合におきましても、訪問歯科診療システムや訪問口腔ケアシステムを構築し、歯科医療・居宅療養管理の地域完結型の供給体制を整えております。神戸市西区歯科医師会のホームページに具体的な依頼方法を掲載しておりますので、是非ご利用ください。地域包括ケアのスキームの中の歯科医療をともに考え、実践してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、関係各位の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。



## 「多職種連携における歯科医師の役割」

神戸市西区歯科医師会 理事 大黒 博司 氏



昨今、オーラルフレイルからフレイル、そして虚弱への移行による高齢者のADLの低下の負のスパイラルが問題となっております。

その最初の段階でもあるオーラルフレイルは、歯科医師・歯科衛生士が対応していく必要がある事です。

しかしながら、多くの対象者は、居宅や施設で生活されており、歯科に掛かっていないのが現状で、その方々を歯科に繋げる必要があります。それら多くの方々と接しているのが、医師・訪問看護師を始めとする医療関係者、ケアマネジャー・介護職・リハ職などの介護関係者の方々です。

歯科医としては、

- ① 多職種の方々との顔の見える関係を作る
- ② 気軽に相談できる環境を作る
- ③ どんな症状がオーラルフレイルの初期段階になるか等の情報発信
- ④ オーラルフレイルを改善する方法の情報発信

などが急務と考えられます。

①②に対する対応 西区歯科医師会としては、9か所のあんしんすこやかセンターにそれぞれ担当の歯科医師を決めて、地域の方々と繋がる窓口としております。また、相談だけでなく、神戸市・神戸市歯科医師会が行っている訪問歯科診療・訪問口腔ケア・訪問歯科健診を現場で担っております。（神戸市歯科医師会のホームページより依頼可能です）

③④に対する対応 希望される高齢者ふれあい給食会に出向いて講演会を行う・多職種に対する歯科に関する講演会開催・介護施設職員対象の口腔ケア実習などを行っております。

しかしながら、数年前からのコロナの影響で、十分には行えていないのが現状です。今後も、より多くの職種の方々と、研修会などを行って連携を深めていきたいと考えております。

さて、簡単にオーラルフレイルに関して説明します。



- おせる・食べこぼす
- 食欲がなくなった・少ししか食べなくなった
- 柔らかいものばかり食べる
- 滑舌が悪くなった・舌がもつれる
- お口が乾く・口臭が気になる
- 歯の本数が少ない・入れ歯をあまり使わない

これらの症状が見られだしたら、オーラルフレイルが始まっている可能性があります。オーラルフレイルは、治らないわけではなく、日々の口腔の運動をする事によって改善します。フレイルの前段階として位置づけられているオーラルフレイルを見逃さず、フレイルになることを食い止めていく事が重要と考えています。



今後とも、地域の皆様が健康な生活を送れるように、貢献していきたいと思っております。



次号では、神戸市西区薬剤師会 船越会長、畑中副会長からのメッセージをご紹介します。



## ■第19回医療介護関係者による研修会

開催日時：令和4年9月1日(木)14:00～15:30  
 場所：オンライン (Zoom) 参加者：72名  
 テーマ：「主要な精神疾患と治療」

～地域生活を支援する当院のとりくみについて～

座長：三宅内科医院 院長 三宅 仁 氏  
 講師：新生病院 院長 宮軒 将 氏  
 内容：講演・質疑応答

参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハ職、MSW・PSW、ケアマネジャー、訪問介護員、あんしんすこやかセンター職員



講師：宮軒 将 氏



座長：三宅 仁 氏

### ●内容

#### ①主要な精神疾患治療

主な精神疾患は、統合失調症と気分障害の2つは、内因性精神障害といわれている。

統合失調症の妄想は、外に向いている。誰かが自分を攻撃して敵視しているという考え方。うつ病の妄想は自分に向いている。幻聴の最初は音の過敏性。

気分障害は、うつ病性障害はうつ病症状だけ。双極性障害は、I型II型がありI型は入院する位重症な躁状態がある。高齢者のうつは、重症の方は妄想が多い。



#### ②地域移行

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、入院中にできるだけ、疾病を理解し、治療・社会支援を受け入れ、薬の自己管理を行う。病院横のグループホームにて1年を目途に通院と通所、訪問等を受ける訓練を実施して、新たな地域へ移行している。ほとんどの方が統合失調症の方。



#### ●質疑応答 (一部紹介)

①ご本人とご家族の病識、受診希望がないのにどうすれば受けていただけるのか➡本来は時間をかけて医療に繋げて、主体的に来させる事が大事。強制的介入には、いくらか条件がある。

②当事者・家族の病識、受診希望がない場合の働きかけ方は➡無理な受診・入院は、人権の問題があります。当事者にどう働きかけるか。何がその人にとって得で損なのかをその人の立場を考えて提示することが大事。

③希死願望、「死にたい」と訴えをされる方の対応は➡「死にたい」をどのように訴えているのか。どういう状況でどのように深刻に訴えをされているのかによって異なる。リスクがあれば受診。

### ●成果

アンケートより

「精神疾患について理解が深まった」  
 「統合失調症、うつ病について治療や付き合い方が勉強になりました」  
 「入院・通院している方をどのように導いて、社会復帰させていくのかがよくわかりました」  
 「精神疾患について理解が深まった。今後の仕事に活かしていきたい」  
 「統合失調症、うつ病について治療や付き合い方が勉強になりました」等の意見が寄せられました。

### ●まとめ



精神疾患の理解や精神疾患を持つ方への対応・関わり方については、支援者にとって不安に感じる事が多く、引き続き「精神疾患を学ぶシリーズ」を行いました。

講演・質疑応答を通し、精神疾患の知識を深め、多職種連携について学ぶことができた事は、アンケート「研修会参加目的が達成できた・やayedきた」と回答された方が94%から確認ができた。

初参加者が16名(全体の22% 医療:福祉=1:2と、精神疾患の学びを深めたい方が多かった。

今回申込方法について伺いました結果です。

- ・開催案内QRコード：25(46%)
- ・西区医療介護センターホームページ：19(35%)
- ・開催案内URL：10(19%)

今後も開催案内にQRコード・URLの掲載を行います。ご協力ありがとうございました。

### ●今後の課題

アンケート「学んだ事を説明できますか」の問いでは、「あまりできない」が13人。13人の内訳は[医療:介護=2:1、現場経験1~3年:3人、7~9年:7人 10年以上:3人]現場経験を重ねている方が、精神疾患を持つ方への対応を難しく感じている事がわかりました。

今後は、事前質問にありました事例等をもとに、医師・PSW・訪問看護師・ケアマネジャー等から、在宅での精神疾患を持つ方への支援を踏まえた学びを、深める機会が出来ればと考えています。

\*動画研修の開催要望の声を受けまして、10/1~31に動画研修を開催。

■第20回医療介護関係者による研修会

開催日時：令和4年11月10日(土)14:00～16:00  
 場所：オンライン (Zoom) 参加者：63名  
 テーマ：『在宅療養における

新型コロナの「現状とこれから」』

参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、リハ職、ケアマネジャー、あんしんすこやかセンター職員、施設職員、行政他



座長：久野 英樹 氏



講演者：三宅 仁 氏

座長：久野病院 院長 久野 英樹氏  
**【第1部 講演：「コロナ診療の現状」】**

講師：三宅内科医院 院長 三宅 仁 氏  
 講演：「当院におけるコロナ感染症の二年間の状況・経過について」「地域の内科診療所・開業医として行ってきた感染対策・診療について」

「実例、重症化例、鑑別を要した疾患、新型コロナ後遺症について」「在宅医療や冬期の感染再燃に対する準備などは？」

質疑応答：(1部・2部で計14問の質問の内、一部紹介) ケアマネ発熱して本人が通院できない状態時、往診は？➡往診できる状況であれば対応。行政がコロナ往診他最新情報を把握しているので、ご相談ください。

**【第2部 パネルディスカッション・質疑応答  
 「コロナを支援する方々の現状とこれから」】**

パネリスト：だいこく歯科医院 院長 大黒 博司氏  
 テーマ：「お口から出来るコロナ対策」

内容：・コロナウイルスの感染経路…接触感染について ・ポピドンヨードの効果について ・コロナ対策としての口腔ケアを行うと、細菌数が減少。

質疑応答：(包括)高齢者のオーラルフレイルの注意点➡食事量減少、食べにくそう・こぼす・おせる等から体重減少等あればオーラルフレイルの可能性があるので一度歯科受診を勧めて欲しい。

パネリスト：うらら訪問看護ステーション管理者 井手豊香氏  
 テーマ：「隔離期間を在宅で過ごす準備」

内容：・今年8/5～20のコロナ感染者対応、対応条件について

・利用者でない方が抗原検査で陽性の場合、お盆期間中主治医が休診の所が多く、薬局が開局している所を探す、役所への報告が遅れ等の対応に苦慮した。

・2事例紹介



質疑応答：(リハ職)事前に本人・家族が発熱・濃厚接触該当する場合の取り決めは？➡利用者には該当する場合は事前連絡をお願いしている。訪問時に発熱対応できる様に、職員全員が感染セットを持参。職員帰社後、抗原検査実施努力している。



パネリスト：あいの森(居宅) 管理者 藪本真理子氏  
 テーマ：「在宅でコロナ療養者の支援する中から見えてきた課題満載」

内容：・これまでの経験をケアマネジャー・医師・訪問看護師に理解していただきたい事をフローチャート形式にて説明

《コロナに感染した》《検査どうしたらいい》《陽性だよ》《症状は》《自宅療養か入院か》《薬どうする》《入院は》《介護どうする》《ケアマネジャーとしてどうする》《課題》《平常時からどうする》

質疑応答：(ケアマネ)知らない情報を得る事ができた。これから提示いただいた資料を活用してケアプランを見直したい➡「平常時どうする」について、機会があれば、皆さんと検討したい。今後も主治医との連携を密に行います。

《パネリストの方々》



大黒 博司 氏



井手 豊香 氏



藪本 真理子 氏

●成果

アンケートより「タイムリーな情報を得る事ができた」「西区の各機関の取り組みが知れたこと。多職種、多機関での情報共有の必要性和フラットに地域の課題について意見交換できる場が定期的にあると良いと感じた」等の意見が寄せられました。

●まとめ

申込時にお寄せ頂いたご意見に副った内容を、座長・講師・パネリストの方々にご準備頂きました。結果、95%の方が「参加目的は：達成・ほぼ達成」・「学びについて：説明できる・概ねできる」と高評価でした。今回の研修は、今後の支援に役立つ情報を知る貴重な機会になりました。

●今後の課題

今後も、コロナウイルスの感染症の動向に注視し、状況に応じて研修会開催を検討していきます。  
 ※研修会参加が難しい方に、今回の研修を「動画研修」として緊急開催(一部編集版)しました。期間は11月17日(木)～12月15日(木)。お申し込み方法は6ページをご覧ください。

# 研修会報告③ ～地域で生きるために～

## ■2022年度 西区市民フォーラム

開催日時：令和4年10月29日(土)14:00～15:15  
 場所：プレンティホール・オンライン (Zoom)  
 参加者：73名  
 テーマ：在宅医療についてみんなで考えよう！  
 ～住み慣れたご自宅で、自分らしく過ごすために～  
 座長：中神クリニック 院長 中神 祐介氏



座長：中神祐介氏



講演者：常深聡一郎氏



講演者：稗田洋子氏

### ●当日の様子

講演：

「知ってほしい、今の在宅医療  
 ～人生の最期の時間、主役はあなたです～」  
 つねみ医院 院長 常深聡一郎氏

- ① 「在宅医療の仕組みについて」
- ② 「今の在宅医療について」

- ・在宅医療の長所・短所
- ・往診について
- ・在宅医療においてクリニックでできること
- ・在宅医療の対象となる方
- ・かかりつけ医の探し方
- ・在宅医療の一例のご紹介
- ・ACP人生会議 等



「在宅医療」について、参加者へどのようなイメージをお持ちなのかを伺い、「在宅医療」についてわかりやすく、参加者に寄り添ったお話をうかがいました。

アンケートより

「自分も平均寿命を超えた今、終末医療をどう過ごすかと考えさせられました」

「若い人たちにも聞かせて欲しい」

「在宅医療について、とても分かりやすくよく理解ができました」等のご意見が寄せられました。

講演：

「在宅医療を利用して  
 自分らしく過ごしてみませんか」  
 おひさま訪問看護ステーション 管理者 稗田洋子氏  
 訪問看護師さんは何をしてくれるの

- ・訪問看護を頼むには
- ・費用は、介護保険と医療保険で違います
- ・訪問看護の対象者と訪問時間
- ・在宅療養されたご家族様・在宅療養中のご本人様からのビデオメッセージ紹介



訪問看護師の役割について丁寧に説明いただきました。また、訪問看護サービスを利用されたご家族様、利用中のご本人様からのメッセージから「自分らしく過ごす」イメージが持てるお話を伺いました。

アンケートより

「家に持ち帰り、親に話してみようと思います」  
 「人生の最期を家で過ごせるのは素晴らしい」  
 「本人・家族に寄り添っている事がわかりました」等のご意見が寄せられました。



### ●質疑応答

市民の方より、会場・オンラインからご質問が寄せられましたので一部をご紹介します。

- ・訪問診療では聴診器をあてるのは必須ですか？
- ・訪問看護の導入時期は？途中でやめますか？
- ・訪問看護はどれくらいで来訪できますか？

### ●まとめ

この度、約3年振りに市民啓発を「西区市民フォーラム」形式にて開催しました。市民啓発では市内で初めて「ハイブリッド形式」に取組み、Webに市民のご参加、ご質問をいただきました。

今後も「在宅医療」の普及啓発活動を行ってまいります。

## ■西区はこんなまち (宝塚市より西区の方が、人口が多く広いよ!! [宝塚市:人口225,700人、面積102km<sup>2</sup>])

西区は、1982年8月1日に、垂水区から分区分し誕生。今年が西区制40周年の記念の年です。

神戸市の西端に位置し、明石、三木の2市と加古郡稲美町に隣接。面積は138.02km<sup>2</sup>で市域の約4分の1を占め、北区に次いで2番目に広い区です。西神ニュータウン・学園都市・西神南ニュータウンなどの建設や玉津町、伊川谷町、岩岡町における区画整理事業などによって、現在の人口は234,616人(2022.11.15時点)市内最多となっています。



### 西区クイズ



神戸市で唯一の国宝建造物の本堂 太山寺はどれ？

鎌倉時代、正安2年(1300年)頃の建立

所在地：西区伊川谷町前開224



A



B



C

※回答は、P6欄外下掲載

# 研修会報告④ ～地域で生きるために～

## ■第3回：動画研修

開催日時：令和4年7月11日(月)～8月10日(水)

内容：2022.5.19開催

「第18回医療・介護関係者の研修」

講演『慢性腎臓病と透析』動画配信

講演者：いでクリニック 院長 井出孝夫氏

参加者：100名(初参加:44名)

参加職種：医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、  
包括、ケアマネジャー、相談員、介護職員等

●成果 アンケートより

「シャント形成など、具体的な事は知らなかった  
ので勉強になった」

「透析の仕組み、腎臓の悪化の程度、検査で早期  
発見する大切さ」

「透析を受ける基準について」等の意見が寄せら  
れました。

●まとめ 

動画研修を通して、今まで参加していない方が  
受講する事で「慢性腎臓病と透析」の知識を得る  
ことができました。

●今後の課題

参加者が100名に対して、アンケート協力者が25名  
でした。皆様の動画研修への思いを伺う事ができ  
ませんでした。

## ■第4回：動画研修

開催日時：令和4年10月1日(土)～31日(月)

内容：2022.9.1開催

「第19回医療・介護関係者の研修」

講演『主要な精神疾患と治療』

～地域生活を支援する当院のとりにくみについて～

講演者：新生病院 院長 宮軒 将 氏

参加者：83名(初参加:22名)

参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看  
護師、リ職、MSW・PSW、包括、ケアマネジャー、訪問介  
護員、通所介護員、相談支援専門員、施設職員等

●成果：アンケートより

「精神疾患の方の地域移行への取り組みの実際を  
学べた」

「何度か見直すことにより習得ができて理 解を深  
める事ができました」等の意見が寄せられました。

●まとめ：アンケートの「学んだ事を説明できま  
すか」の回答「できる・概ねできる」を、9/1開催  
と比較すると動画研修の方が12%UPしていました。

●今後の課題

今回アンケートご協力頂きました50名様より貴重な  
ご意見を伺う事ができました。ご意見を今後の研  
修開催について検討していきます。



## ■ このようなご相談が西区医療介護サポートセンターにありました


Q1:耳鼻科、眼科、皮膚科、などの診療科で  
往診対応してくれる医師はいますか？(訪問  
看護師・ケアマネジャー)

「西区医療介護地域資源マップ2021年度版」等から紹  
介。※関連機関のみ「西区医療介護地域資源マップ  
2021年度版」配布。※2022年度版は作成していません

Q2:他市から転入者で、これからパーキンソ  
ン病の受診をしたく、市内の難病指定医の一  
覧を教えてください。(施設職員)

神戸市ホームページ⇒ [特定医療費(指定難病)助成  
制度における「指定医」・「指定医療機関」一覧]を  
紹介。

## ■ 研修会開催予定(詳細は西区医療介護サポートセンターのホームページをご覧ください)

開催日程	場所	テーマ
R4.11.17(土)～ 12.15(土)	オンライン (Zoom)	第5回：動画研修 《緊急開催》 在宅療養における新型コロナの「現状とこれから」 <span style="float: right;">申込QRコード → </span>
R5.1.12(土) 14:00～15:30	オンライン (Zoom)	ワールド・カフェ♪(仮)「在宅療養における薬剤管理の困り ごと～薬剤師さんの役割を知ろう～」
R5.2.16(土) 14:00～15:45	オンライン (Zoom)	(仮)「パーキンソン病を持つ人に寄り添うために」 講師：奥田 志保氏、パネリスト：調整中

西区医療介護サポートセンターは、医療、介護、福祉の関係者からの在宅医療に関する相談への対応や、各種の研修、  
市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っております。医療・介護・福祉関係者の皆様、お気軽に  
ご相談ください。

西区医療介護サポートセンター コーディネーター：中澤・溝端

受付時間：月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 電話：078-797-7830 FAX:078-797-7831

西区医療介護サポートセンター：<https://kobe-iks.net/area/nishi>



©2013 kobe city No. R4-005

西区医療介護サポートセンターホームページQRコード

